

治療学人工知能（A I）研究センター看板上掲式が行われました。

千葉大学は、平成30年4月1日に医学研究院附属治療学人工知能（A I）研究センターを設置し、5月16日に看板上掲式を行いました。徳久剛史学長、中谷晴昭理事、松浦晃幸理事、中山俊憲副学長・医学研究院長・AI研究センター長、山本修一副学長・医学部附属病院長が出席しました。

治療学人工知能（A I）研究センターは、本学の医学研究院、附属病院等の基礎医学研究ビッグデータと医療ビッグデータを基盤に人工知能（A I）を構築し、実証研究及び臨床現場で実地利用を展開することにより、新しい学問領域として「A I治療学」を創成し、革新的な基礎研究の推進、精度の高い速やかな診断法の確立、これまでにない新たな治療法の開発、「A I治療学」を牽引する研究者、技術者など次世代を担う人材を育成します。



左より、松浦晃幸理事、中谷晴昭理事、徳久剛史学長、中山俊憲副学長、山本修一副学長